

藤野衆院議員、緊迫した国会情勢を報告

日本共産党の藤野保史衆院議員は19日、20日と上越市内に入り、緊迫した国会情勢を報告しました。以下はその大要です。

いまの安倍政権、公文書の改ざん、ねつ造、隠ぺい、セクハラ、シビリアンコントロールの崩壊など、まさに底が抜けたような状況だ。総理は一点の曇りもないと言うが、疑惑はますます深まるばかりだ。

働き方改革の法案、TPPの問題でも大きな山場を迎える。働き方改革法案は23日にも、強行採決しようとしている。しかし、与党もこの法案の基礎となるデータが間違っていることを認めている。こうなったら、元からチェックし直すのがあたりまえではないか。これでも予定通りやらせてくれなんてとんでもない。

新潟の農業、日本の農業を壊してしまうTPP、当初入ると思われていたアメリカが抜けると言っている、これは当初の前提の大きな変更だ。新しいTPPに入ったら、日本の農業、新潟の農業、どう影響を与えるか何にも議論していない。外務委員会で条約を議論し



南高田駅前演説する藤野保史衆院議員

たのはたった6時間、内閣委員会で議論したのはたったの14時間だ。前提が大きく変わったにもかかわらず、前のTPPのことを前提にしている、こんな無責任なやり方は許されない。

いま、野党は一致して安倍政権の暴走にしっかり対決している。先日は原発ゼロ基本法案、国会史上初めて原発ゼロを法律に書き込んで、野党共同で提出できた。この市民と野党の共闘が全国で一番花開いているのが新潟県だ。全国を驚かし、励ましているのが新潟の民主主義だ。6月に行われる政治戦でもこの市民と野党の共闘の力を発揮していいこうではありませんか。これは安倍政権への大きな一撃になる。ぜひともこのたたかいで市民と野党の共同を押し上げていただきたい。みなさんの大きなお力添えをお願いしたい。



大島区のある家の玄関で見かけた生け花



箆の葉も大きくなって、チマキの季節になりました。23日、直江津の三八市でひららぎ（平良木）哲也前市議と共に宣伝したとき、市でチマキを買ってきました。母は大喜びでした。



【ホトケノザ】シソ科の一年草または越年草。漢字で「仏の座」と書きます。花期は3～6月、薄紫色の花を咲かせます。花言葉は、「調和」「小さな幸せ」など。23日、市内春日山町にて撮影しました。

市議会委員会条例、一部改正へ
24日、臨時議会が開かれます。このレポートがみなさんのところに届く頃には臨時議会は終わっているはずですが、この臨時議会は終わっていないはずですが、この臨時議会の委員会条例が一部改正される予定です。
これまで、文教経済常任委員会の所管だった農政、農業委員会分野を農政建設常任委員会の所管に移すという内容です。
今回の変更により、各常任委員会の審議時間の長短が圧縮される予定ですが、果たしてどうなるでしょうか。

はしづめ法一の活動レポート

No.1859 2018.5.27
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第五〇七回

真夜中の訪問客

月曜日の朝のことです。玄関を開け、外に出て車に乗ろうとしたとき、すぐ私の目に入ったのは動物の足跡でした。それも、握りこぶしよりも少し小さな足跡ですから、けつこう大きな動物です。

よく見ると、庭にある百日紅の木の下あたりから金木犀の木のそばを通って、玄関の近くまでやってきたようです。途中の土が何ヶ所かほじくられていました。というよりも、重い体重の動物が歩いたことで跡がついたと言った方が正確なのかも知れません。

動物が歩いたコースはわが家の庭でも、土が比較的軟らかいところでした。めくれた黒っぽい土、その土の色の鮮度からみて、明らかに夜中に動いた跡だと思えます。深くえぐられた穴の大きさは直径六、七センチで、穴の形から判断すると、カモシカの足跡であることはほぼ間違いありません。となると、カモシカが夜中にわが家の玄関のところまでやってきて帰っていったということになります。

しばらくして、私の地元事務所まで車に乗って行くと、そこでも同じ足跡がありました。大きさはほぼ同じです。カモシカはわが家に来ただけでなく、私の事務所にもやってきたのです。

実際は、カモシカがたまたま、わが家や事務所にやってきただけのことなのかも知りませんが、そうでないとしたら……ひよっとすると、カモシカは用があつて私を訪ねてきたのではないか。そんな気がしてきました。家と事務所に残された足跡は、いろんな想像を掻き立ててくれます。

五〇〇日も離れた建物を行き来したとなると、カモシカの家族に切ない事件があつたのではないか。例えば、カモシカの子どもの姿が見えなくなったから、一緒にさがしてくれないか、そういった緊急事態があつたのかも。緊急事態というなら、子どもが病

気になっていられることも考えられます。橋爪さんなら、長年、牛を飼っていた。獣医さんを知っているんじゃないか。そう思つて、訪ねたのかもなどと考えてしまいます。

ここ数年の間に私は三回、カモシカと出会っています。

一回目は吉川区と大島区の境とでもいうべき場所です。上川谷から板山に抜けようとしたときでした。私の車の斜め前にカモシカを見つけたので、カメラを持って車を降りようとした。カメラが何かの武器のように見えたのでしようか、カモシカは私の姿を見た瞬間、カヤをなぎ倒して、急な土手を下っていききました。

二回目は、私の地元事務所のすぐそばの杉林でした。このときは、私と目が合ったのですが、私をじつと見ていて、逃げることはしませんでした。おかげで、このとき、初めてカモシカを写真に収めることができました。

三回目は今年です。ひと月くらい前のことでした。市役所へ行く途中、ちようど、小苗代の平和橋のたもと付近まで車を進めたとき、何か大きな動物が道をびよんぴよんと横切り、竹林の中へと消えていきました。以前に見たことのあるカモシカに比べ、細く見えただけで、最初は何だろうと思つたのですが、顔がちらつと見えたとき、カモシカであると確信しました。

今年私が住んでいる集落や私の事務所周辺でカモシカを見たという人が相次いでいます。このカモシカは、たぶん、私がひと月ほど前に見たカモシカと、そして、夜中にわが家にやってきたカモシカとも同じでしょう。

今夜もそうですが、私は事務所まで原稿を書き、夜遅く家に帰ることが少なくありません。夜中にわが家にやってきたカモシカと夜中に出合う日はまもなくでしょう。そのとき、どんなドラマがおきるのでしょうか。



花いっぱい
隣の集落、小苗代。先日の朝、4人のお母さんたちが市道近くの畑に花の苗を植える作業をされていました。1ヶ月ほど経つと、この周辺は赤や黄色などの花でいっぱいになります。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月16日(水)	5月23日(水)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.040	0.047
頸北消防署	0.040	0.050
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.043	0.047
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.047	0.053

なんじゃもんじゃ

先日、吉川区原文町の石野武安さんの庭に行ってきました。今年も、なんじゃもんじゃの木の花が咲いていました。名前自体が面白い木の花ですが、これについては石野さんの手作りの案内板によく書かれています。どうですか。なるほどといった感じでしょう。それにしても、石野さんならではの、味のある字体と文章です。

